

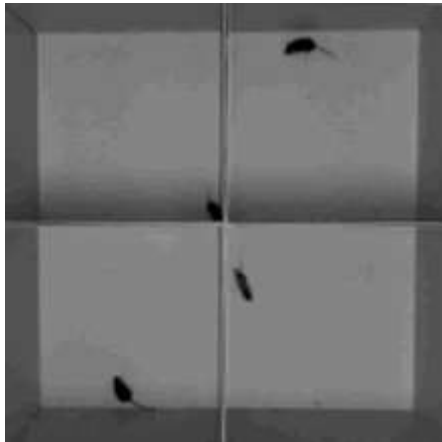
【派遣者近況報告】

タイトル： イタリア・パドヴァ 派遣先での研究活動

派遣者： 岩田 圭子

派遣先： パドヴァ大学生物学部門(イタリア)

報告日： 2016年12月23日



SHIRPA法の例

Open field

VIMM seminarの様子
(Chair; Prof. Scorrano)

頭脳循環プログラムの開始から8カ月が経ちました。2016年5月から現派遣先に滞在しております。こちらでは「発達障害および精神疾患におけるミトコンドリア動態の関与」をテーマに研究を進めております。Scorrano研ではミトコンドリア研究を多角的に進めており、ミトコンドリア研究に必要な試薬・設備が揃っております。また優秀な研究者が多数在籍しており、彼らとのdiscussionに積極的に参加しております。同プログラムで大阪大学・新谷准教授が先にScorrano研に派遣されていたこともあり、派遣開始後、スムーズに研究をスタートすることができました。まず私が取り掛かったことは、こちらでマウスの行動解析システムを確立することです。SHIRPA法を導入し、当ラボのマウスを評価しました。解析は進行中ですが、特定の行動に異常があることを見出しています。さらに、パドヴァ大学内の他講座からの共同研究依頼を受け、近く解析を始める予定です。また、Open fieldとany maze解析ソフトを導入し、より高度な行動解析も試みています。その他の活動としましては、こちらでVIMM seminar(橋本教授・松崎教授・新谷准教授のご講演)をオーガナイズさせて頂いた他、各種学会にも参加し、私自身の研究へのアドバイスを頂く他、新たな共同研究の可能性も広げることができました。これらの経験は今後の研究発展に多大に寄与するものであり、本機会を頂いたことに感謝いたします。